

# アトム の 広場

Shimane Atomic Information

しまね原子力広報 1998.3

NO. 39



表紙写真:「新緑の立久恵峡」(出雲市)安達 彰

## contents

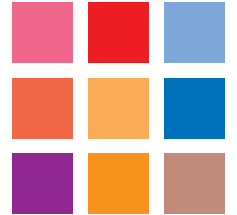
### 目次

環境放射能調査結果のお知らせ .....	2 ~ 3
島根原子力発電所の運転状況メモ .....	2
温排水調査結果のお知らせ .....	4
放射線あれこれ .....	5
原子力とぴっくす .....	5
環境放射線情報システム .....	6 ~ 7
発掘こぼれ話 .....	8

島根県

# 環境放射能調査結果のお知らせ(1)

Shimane Atomic Information  
アトム広場



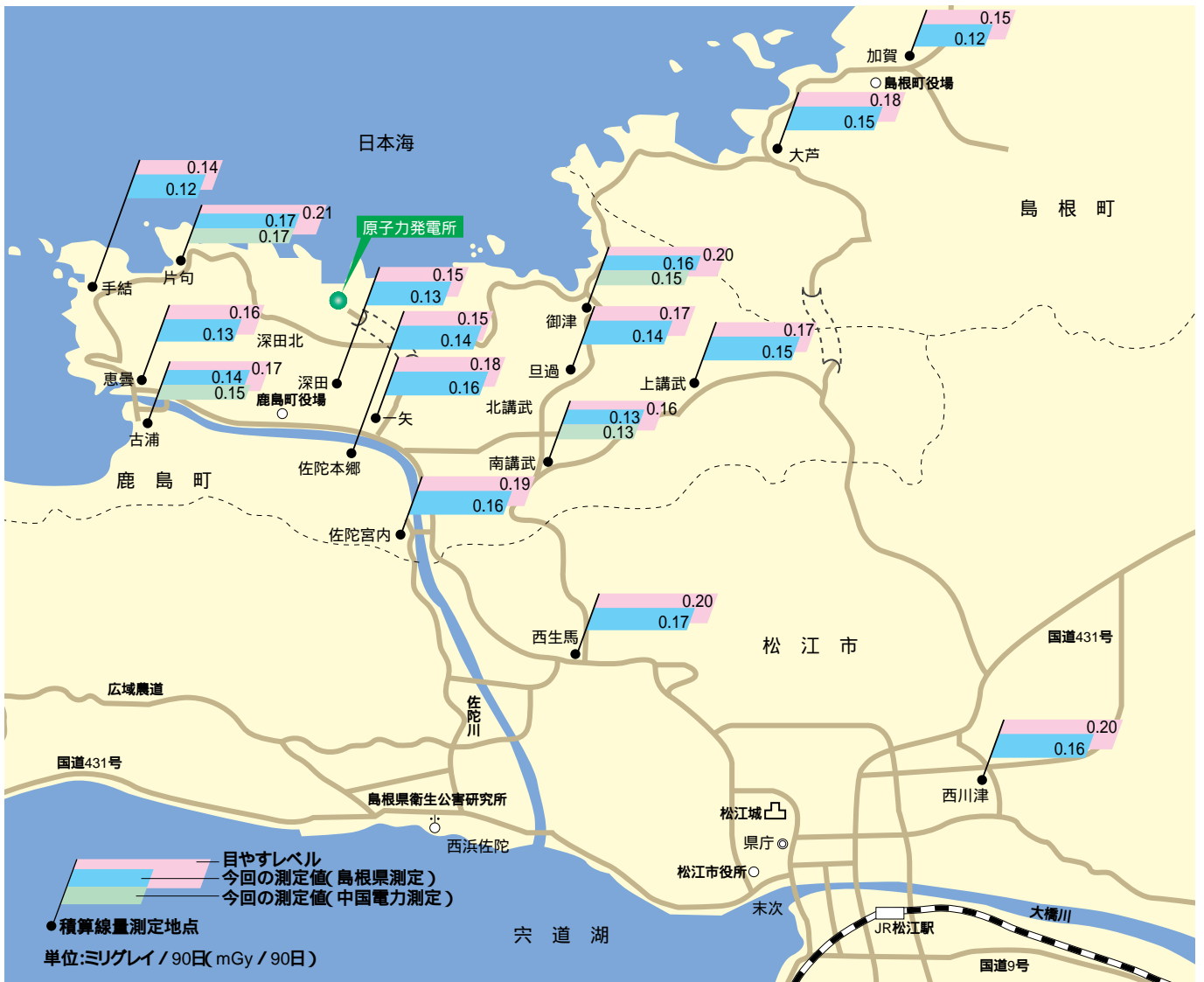
平成9年10月～12月分

お問い合わせ先 島根県環境保全課 TEL.0852-22-5278

今期の調査結果を検討・評価したところ  
島根原子力発電所の影響は認められませんでした。

## 空間放射線積算線量

各測定地点で熱ルミネセンス線量計により、約3ヶ月間環境放射線を連続測定したのですが、測定された放射線のほとんどがその地点の自然放射線によるものです。



## 島根原子力発電所の 運転状況メモ

10月～12月



### 1号機

定格出力46万kw  
～11月23日まで第20回  
定期検査のため原子炉停止  
11月23日 原子炉起動  
11月26日 発電開始  
11月27日 定格出力到達  
12月24日: 第20回定期  
検査終了  
以後、定格出力運転

### 2号機

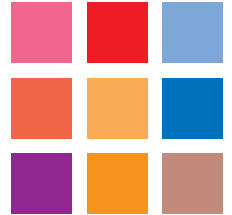
定格出力82万kw  
全期間定格出力  
運転

### 目やすレベルとは

目やすレベルは、数多くの測定データを統計処理した値で、このレベルを超えたデータについては、その原因調査を行い、原子力発電所の影響の有無等を判断します。また、目やすレベルは人体に影響を及ぼすレベルよりはるかに低い値であり、人体への影響を評価するための目やすではありません。

# 環境放射能調査結果のお知らせ(2)

Shimane Atomic Information  
アトム広場



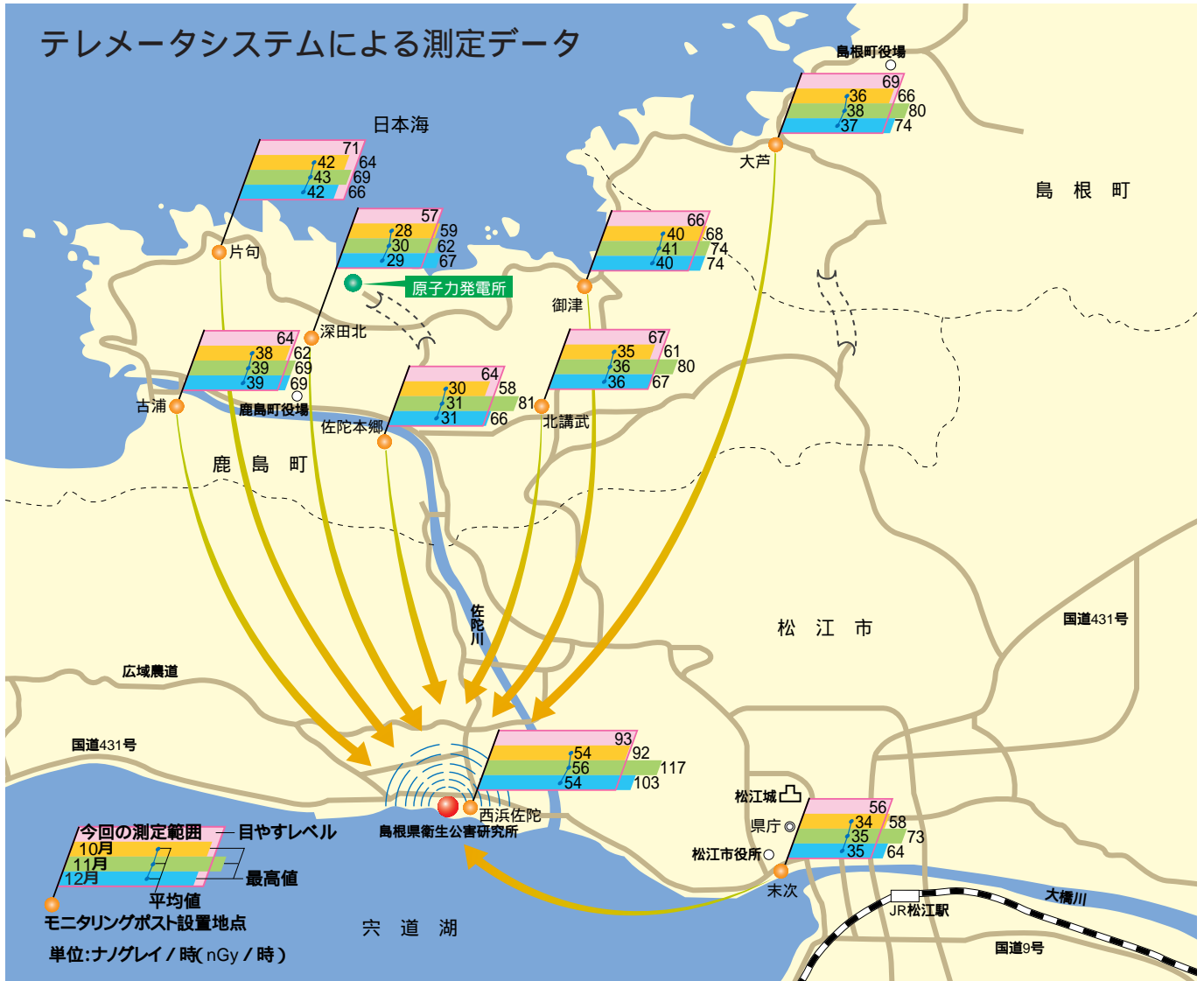
平成9年10月～12月分

お問い合わせ先 島根県環境保全課 TEL.0852-22-5278

## 空間放射線線量率

モニタリングポストにより測定した結果です。測定されたもののほとんどが自然放射線によるものです。目やすレベルを超えた値はいずれも降水によるものでした。

### テレメータシステムによる測定データ



## 環境試料中の放射能

一部の試料から核実験などによるものと思われる微量の放射能を検出しましたが、島根原子力発電所の影響は認められませんでした。

### 線スペクトロメトリーによる分析結果

試料区分	測定結果
浮遊塵	-
海水	対象核種のうち <sup>137</sup> Csが、1.7~2.9ミリベクレル/l検出されました。
陸水(水道原水)	-
植物(松葉)	-
農産物(大根)	-
農産物(ほうれん草)	-
農産物(精米)	-
牛乳(原乳)	-
海産生物(さざえ)	-
海産生物(あらめ)	対象核種のうち <sup>137</sup> Csが、0.13~0.16ベクレル/kg(生)検出されました。

線スペクトロメトリー対象核種 牛乳:<sup>131</sup>I その他の試料:<sup>54</sup>Mn、<sup>59</sup>Fe、<sup>56</sup>Co、<sup>60</sup>Co、<sup>137</sup>Cs  
「-」は検出下限値未満を示す。

### トリチウム測定結果

試料区分	測定結果
海水	-
水道原水	トリチウムが、0.49~0.54ベクレル/l検出されました。

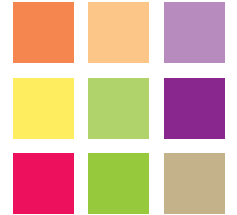
単位: Bq/l 「-」は検出下限値未満を示す。

### ストロンチウム90測定結果(7~9月採取分)

試料区分	測定結果
陸土	濃度 <sup>90</sup> Srが、2.3ベクレル/Kg(風乾物)検出されました。
	面密度 <sup>90</sup> Srが、0.11キロボクレル/m <sup>2</sup> 検出されました。

# 温排水調査結果のお知らせ

Shimane Atomic  
Information  
アトム広場



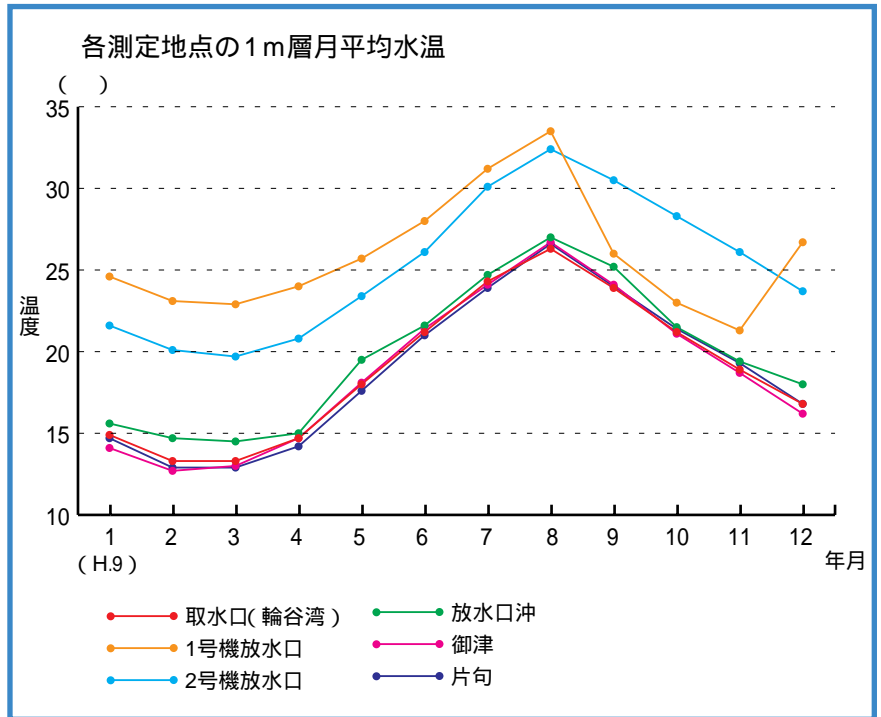
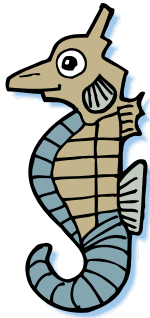
平成9年10月～12月分

お問い合わせ先 島根県漁業管理課 TEL.0852-22-5315

島根原子力発電所周辺海域の水温分布と水色を島根県と中国電力(株)が調べています。このほど10月～12月の調査結果がまとまりました。

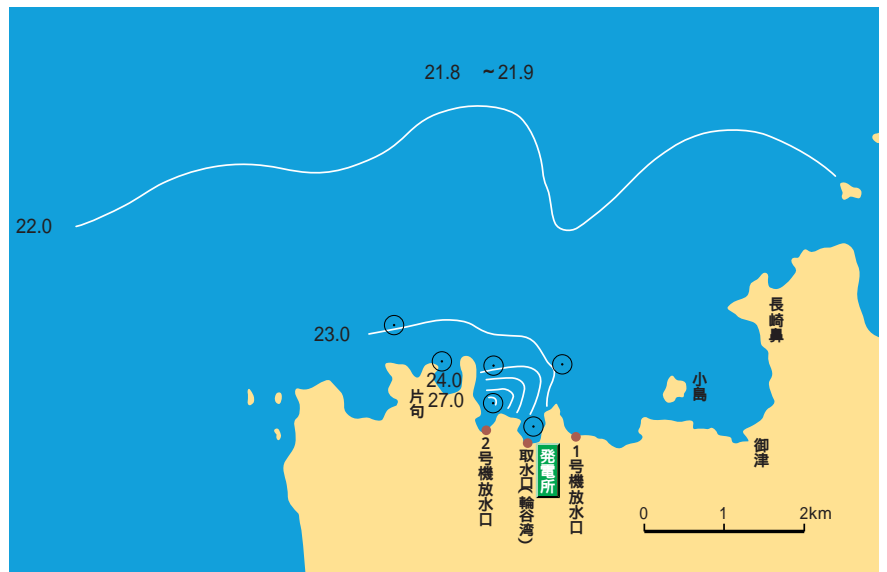
## 沿岸定点の水温 (10～12月測定)

1号機放水口の水温は、取水口の水温と比較して、10月は0.0～2.5 程度、11月は0.0～8.0 程度、12月は9.0～10.0 程度、また、2号機放水口の水温は、同じく10月は6.5～7.0 程度、11月は5.5～7.0 程度、12月は6.0～6.5 程度高めでした。



## 沖合定線の 0m層水温 (10月6日測定)

- 水温の分布状況は右の図のとおりでした。
- ：温排水の影響があったと思われる定点
  - ：等温線は1 間隔で示してあります。なお、1 未満の海域は水温範囲で示しました。
  - ：温排水の影響があったと思われる定点：基準水温より1 以上高い水温
  - ：基準水温：沖合定線の中で最も沖合5定点の水深別平均値



## 海の色 (10月6日測定)

今期の測定結果は水色(番号)で表すと **5** **6** で、特に変わりありませんでした。

観測場所	取水口付近	1号機放水口付近	2号機放水口付近	1号機放水口沖北 2000m付近	1号機放水口沖北 4000m付近
水色(番号)	<b>5</b>	<b>6</b>	<b>5</b>	<b>5</b>	<b>5</b>

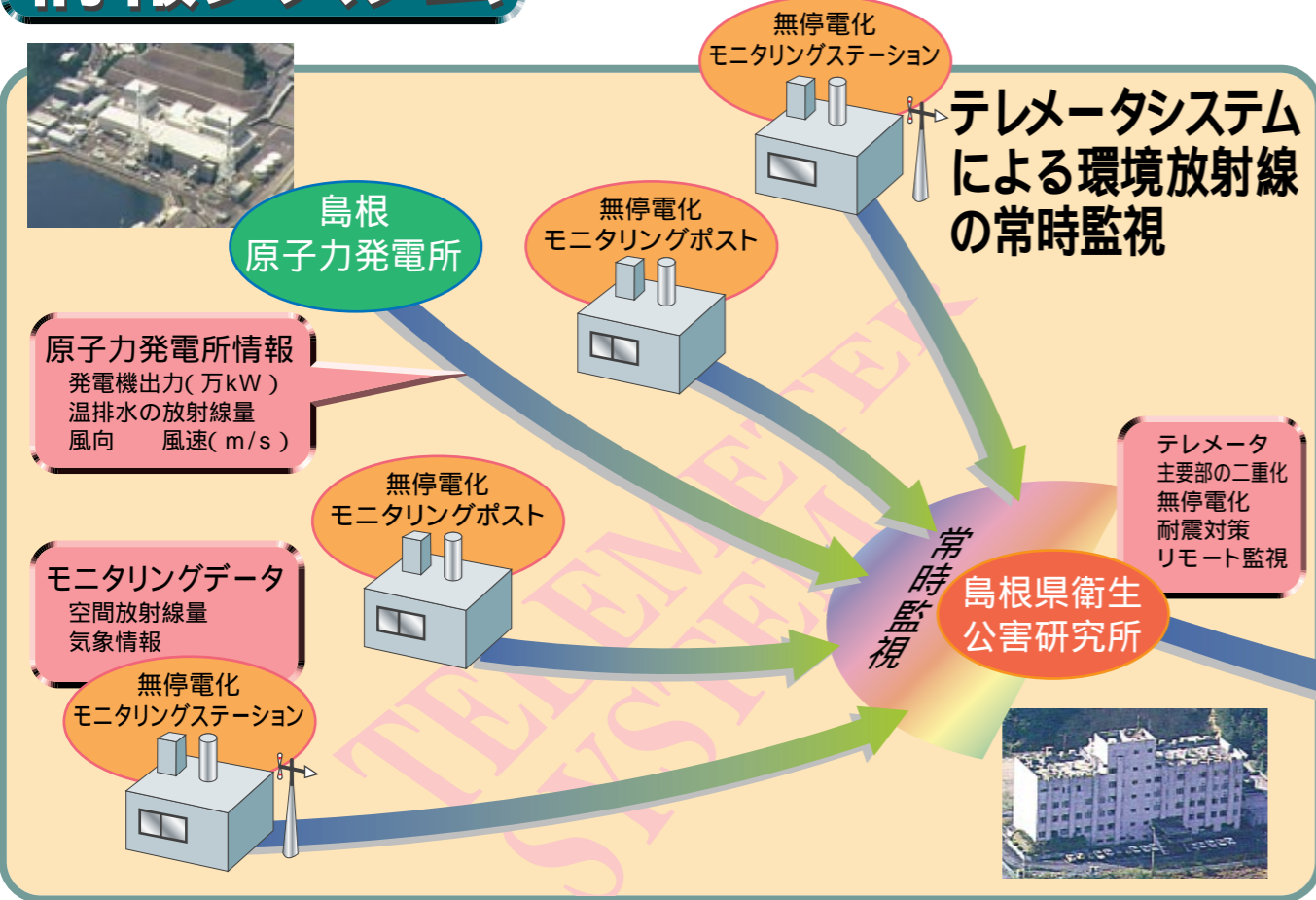
(注) 水色とは、白昼海面の真上から肉眼で観察した海の色で、一般にフォーレルが考案した標準液と比較する方法で測定されています。標準液番号は1～11までがあります。

今まで観測されたこの海域の色は **2** **3** **4** **5** **6** です。

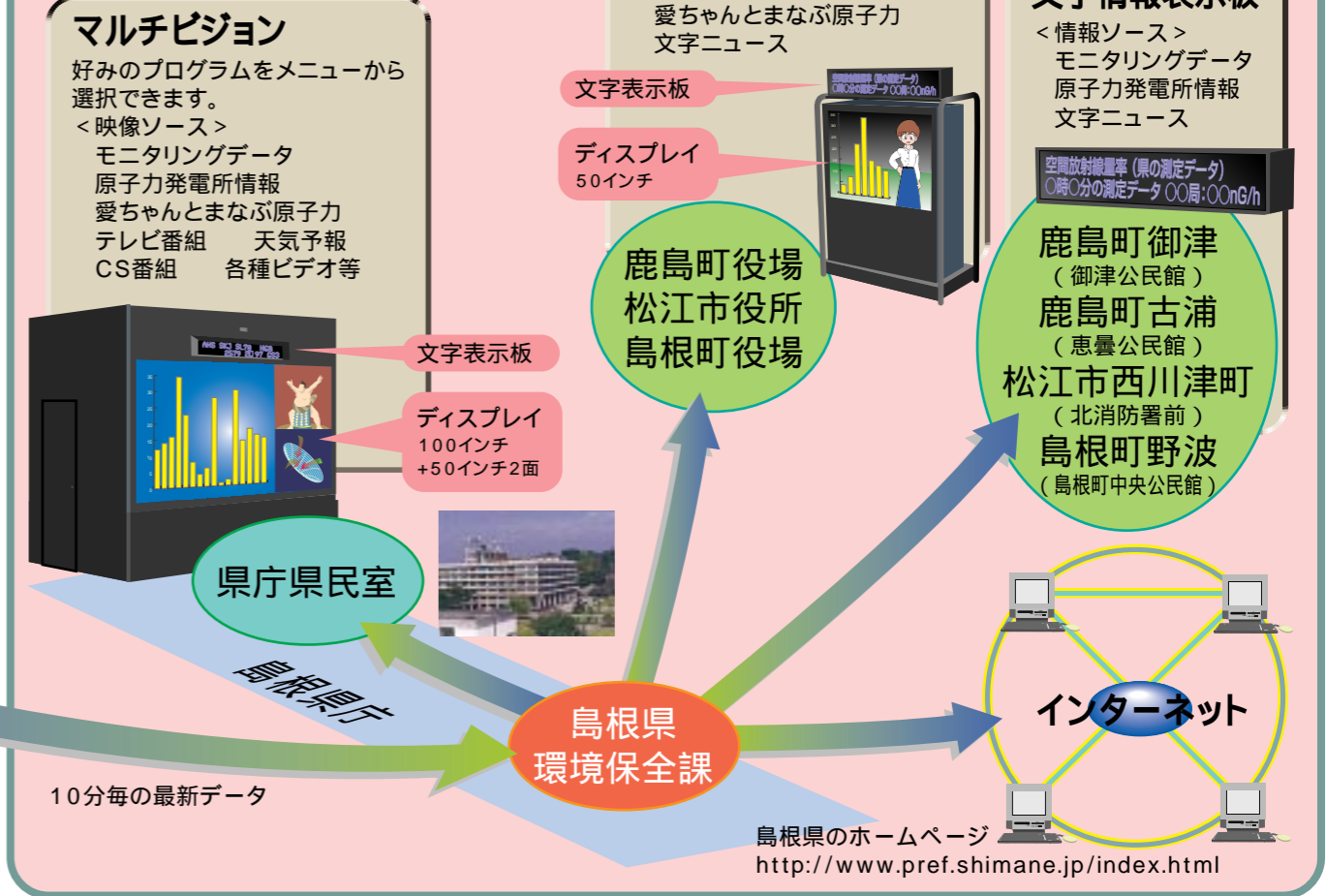


# 環境放射線情報システム

島根原子力発電所周辺のモニタリングポストからの測定データを、休むことなく集め続けてきた「県のテレメータシステム」が更新を迎え、4月より新しくなります。その名は「**島根県環境放射線情報システム**」。このシステムは新たな工夫をこらして、信頼性を高め、測定データを広く県民の皆様に見ていただくために整備しました。

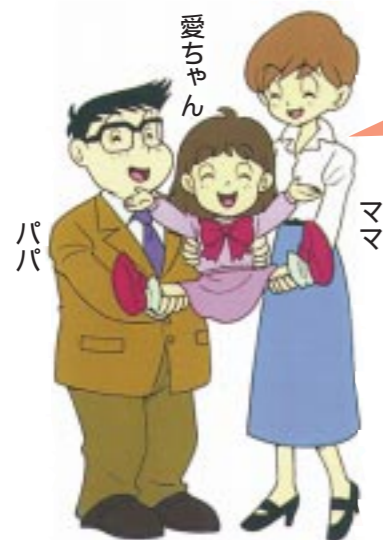


## マルチビジョンや文字表示板による各種情報表示



## 環境放射線テレメータシステムが

「島根県環境放射線情報システム」で登場する愛ちゃん、パパそしてママにこのシステムの説明をしてもらいましょう。  
愛：「はじめまして『愛』で～す。よろしくね」  
パパ・ママ：「よろしくおねがいします」



私たちが登場する楽しいアニメもあります。見てネー！

ママ：「今回は今年4月から新しくなる環境放射線テレメータシステムについて説明します。」  
愛：「ところでパパ『テレメータ』って何？」  
パパ：「テレメータねえ、どこかで聞いたことあるようないような」  
ママ：「テレメータって以外といろいろなところで使われている便利なものなのよ」  
愛：「ふ～ん。けっこういろいろ使われているんだ。」

### ママのテレメひとくちメモ

「遠くに離れたところの情報を、電話回線や無線などを使って1ヶ所に自動的に集めて監視する、このような装置をテレメータと言います。島根県の放射線テレメータシステムは島根原子力発電所周辺の放射線測定装置(モニタリングポストやモニタリングステーション)ヶ所からのデータを2分毎に県衛生公害研究所に電送し、データが監視されます。この『アトムの広場』

## 新しくなります。

で3ページにのっている『空間放射線線量率』(テレメータシステムによる測定データ)は、衛生公害研究所に集められた3ヶ月分の膨大な量のデータを、集計して掲載しています。  
「テレメータは、放射線監視以外にも大気環境監視や河川のダム監視用などに利用されています。」

パパ：「ところで愛、島根原子力発電所のまわりの最新の放射線の値が、どこで見られるか知っている？」  
愛：「知ってる！前にママと県庁に行ったときに大きなテレビで見たもん」  
パパ：「今度、県庁以外でも見られるようになるんだぞ」  
愛：「へえ～ おうちでも？」  
パパ：「まさか、家にいて見られるわけないだろ。役場とか市役所でだよ」  
ママ：「パパ知らないの？4月から、うちにいても放射線のデータとか島根原子力発電所のデータが、見えるようになるのよ」

### ママのテレメひとくちメモ



「いままでは県庁の県民室で、発電所周辺の放射線の測定値を見ることが出来ましたが、4月17日から県庁の県民室はもちろん、鹿島町役場、松江市役所や島根町役場で大型のテレビや文字表示盤により、測定値や島根原子力発電所のデータを見ることが出来ます。また、更に鹿島町の2ヶ所、松江市及び島根町の各1ヶ所に文字情報表示盤を設置して、いつでも情報が見られるようにしています。そして、だれでも自宅にいながら測定値を見ることが出来るように、4月17日からインターネットで島根県のホームページ上に、24時間最新の測定値を表示します。」

愛：「ねえパパ、うちでもインターネットしたい！」  
パパ：「愛、インターネットはパソコンがいるんだよ。そう簡単に買えないよ。」  
ママ：「あら、パパのあのへそくり、使えばいいじゃないの」  
パパ：「な、なんで知ってるのママ」

愛ちゃんをはじめ、パパ・ママと一緒に原子力について勉強する番組を、県庁、鹿島町役場、松江市役所そして島根町役場の大型テレビで見ることが出来ます。ぜひ一度見に来て下さいね。



島根県は古代文化の宝庫といわれ近年、ますます関心が高まっています。そこで、調査、発掘の現場ならではのこぼれ話をご紹介します。

## …葉っぱ…

川に眠る遺跡の調査は大変です。まさに矢板を打ち、水がはいらぬようにして調査をしますが、水面より下を掘ることも多く、魚や水鳥が頭の上にいることもしばしばです。しかし川の調査でないと味わえない感動もあり、初めて川を調査する人には驚きの連続です。ふつつなら腐りやすく、見ることができない木や骨などがよく出てくるからです。

ある日、調査員は湿った粘土が掘りおこされるのをジッと見ていました。ひとかたまりの粘土がバサツと起きあがった瞬間、彼は目を疑いました。鮮やかな緑色の葉っぱがそこに出てきたのです。二〇〇年以上前の弥生時代のカシの葉。まるでいま木から落ちたように見えるその葉を調査員は写真に撮ると、すぐさまカメラを取り出し、ファイナダーをのぞきました。しかしそこにあったのは、空気に触れてすでにまっ茶色に変色した枯れ葉のような葉っぱ……。二〇〇〇年の眠りからさめたカシの葉は、さながら浦島太郎のごとく経過した時間をいっきに取り戻したかのようでした。



弥生時代のひしゃく



### 弥生のタイムカプセル!!

…松江市西川津町・タテチョウ遺跡、原の前遺跡、西川津遺跡…

「水の都・松江」市街地の北東部を流れ、大橋川にそそぐ朝酌川は、『出雲国風土記』には「水草川」と記されている。この川の流域は、ほとんどすべてが遺跡と言っても過言ではない。大雨のたびに浸水する川を拡幅するため、1975年から発掘調査が始まり、流域の3つの遺跡から、縄文時代から近代までの多くの遺物が出土している。西川津遺跡からは、縄文時代早期の土器や、弥生時代の木製農具、石器の生産過程が

わかる品々をはじめ、赤漆を塗った櫛、模様を描いたひょうたんなど、多種多様な遺物が出土している。

原の前遺跡では、阪神・淡路大震災にポートアイランドで起こった液状化現象と同じ、噴砂の跡や曲がった杭などが見つかった。古墳時代中ごろに松江周辺で、震度6以上の地震があったことを物語っている。

この一帯の調査は、水中ポンプで排水をしながら行っているが、梅雨末期の集中豪雨では遺跡がよく水没する。古代から洪水との戦いがくり返されている地だ。

この記事は島根県古代文化センター発行「いにしへの島根」第七巻 記録の中に眠る遺跡たち より転載したものです。

